

シリアの化学兵器攻撃

ガリラヤから、シャローム。こんな報告のアップデートをする必要などなければよかったのに、と心底思います。残念ながら、シリアで一日半前に起こった事、イドリブ郊外での化学兵器攻撃について、多くの混乱が横行しています。正直言って、とても驚いたのがクリスチャンの反応です。アサド政権とロシアが発した嘘偽りに、すっかり騙されているのです。現地ですべてを明確にしておくのは、とても重要だと思いますが、私が語る時は、しっかりした確信をもって語っています。この事件に対して、イスラエルの諜報局最高権力者によって「立証されている」と言ひましょう。

まず、覚えておかなければならないのは、アサド政権による自国民への化学兵器攻撃は、何も目新しいことではありません。過去6年間の間に、少なくとも40回は行われています。実際、この3~4日の間に3回ありました。ただ、そのうちの1回が激しくて、今現在100人以上が窒息死しましたが、今日さらに1回、数日前にも1回ありました。この時は別の物質が使用されたため、被害者があまり出ず、何も報道されなかったのです。しかし、今回は少し違っていました。でも、詳細を説明する前に、アップデートしておきたいのは、数時間前にロシアのプーチン大統領が、イスラエルのネタニヤフ首相に、電話で叱責したのです。イスラエル諜報部が「これはアサド政権が背後にある」と即座に結論付けたためです。また、彼が言うには、

「それには根拠がなく、我々はある種の調査団の発表を待つべきだ」と。

これがまさに、中東が常に直面している問題で、何かが起これば皆が一斉に言うのです。

「調査結果が出るまで、結論を急いではいけない」しかし中には、名前や場所、出来事がはっきりと分かっている場合などは、結論を待つ必要のないこともあるのです。私は化学兵器爆弾を投下した飛行機の操縦士長の名前を知っています。また彼がどこから離陸したのかとか、操縦していた飛行機の機種もはっきりと分かります。だからこれに関して、我々は捜査機関の結果を待つ必要がありません。私たちはもう既に知っているのです。我々の諜報機関がシリア国内にいます。そして我々は、この同じパイロットをかれこれ6年追跡しています。シリアの裁判所の判事が、反政府からシリア側に逃亡した時、直ちに他の多数の攻撃でこのパイロットの名前が浮上してきたのです。彼はアラウィー派、これは基本的にはシーア派で、名をモハメッド・ユスフ・ハサンといい、大佐で、アサド政権で最も重要なパイロットの一人、テルカラというレバノン国境の町の生まれで、飛行中隊第685部隊の司令官です。スホイ22 (Su-22) 航空機を操縦しています。さらに彼は、あちらのシャイラット空軍基地では空中大隊50部隊のトップでもあります。そして、シャイラット空軍基地とは、襲撃機の殆どが飛び立つ基地です。この男は、——彼だけでも2,000以上の襲撃を行っており、彼は自機に「アルクドゥス1号」という名をつけています。アルクドゥスとは、アラブ語でエルサレムの名前です。エルサレムは常に物事のある中心にあって、彼は絶対に私たちから離れることはありません。先ほども言った通り、我々が初めて彼の名を知ったのは2005年前半ですが、2015年、彼の名前がシリアの判事のリストに挙がってきたのです。2日前の爆撃は朝6:48に起こりました。朝、子どもたちが目を覚ます時間、町の人々が目を覚まし、仕事に出かける時間です。町の名前はハンシャイフン、シリア北西部の郊外です。この町はすでにほとんど破壊されていて、わずかに残された場所に人々がまだ住んでいます。そして、彼らはここをまだ爆撃しています。アサド政権は彼に対

して忠実な者を使います。そうでなければ、反政府軍を破壊しないだけでなく、こんちシリアを支配している少数派・アラウィー派を、彼らがいずれ惨殺することを分かっているからです。ですから、彼らにとっては自分たちが殺るか、殺られるかの問題で、中間はないのです。シリア軍には十分な地上兵士がいなため、これらの奇襲がとても効果的であると証明されています。彼らが行ったのは、異なる複数の場所へ爆弾を投下し、人々が中心街へと逃げ込んだところへ爆撃するというものでした。とんでもない事です。しかし、アサド政権は「我々は爆撃など一切行っていない」と宣言しています。その後、彼らは「自分たちは爆撃は**した**が、それは反政府軍の化学兵器格納庫だけだった」と述べました。我々は、これがなぜ嘘であると分かるのか、ご説明します。まず第一に、アサド政権はずっと嘘をつき続けていることを、我々は知っています。彼らは「塩素ガスなど持っていない」と言いながら塩素ガスを使用し、「VXガスは持っていない」と言いながら、VXを使用しました。そして彼らは、「サリンガスを所有していない」と言いながら、サリンガスを使ったのです。だから、彼らが嘘つきなのは、周知なのです。それに加えて、爆撃の影響です。もしこれが本当に一つの化学兵器格納庫だけだったのなら、その地域の人だけが影響を受けたことでしょう。しかし、シリア空軍がやったことは、非常に多くの場所を爆撃したということです。まるでゴキブリに殺虫剤を撒くかのようなのです。ですからそこらじゅうに、広大な範囲で、多くの人が窒息死したのです。事実、飛んでいた鳥までもが大量に窒息死して、空から落ちて来たと言います。これはまるで、——みなさん、覚えておいででしょうか。2013年、オバマがレッドライン（超えてはならない一線）を引いたことを。当時アサドは、オバマを試していたのです。そして、オバマが何もしてこないことを知ったアサドは、ホムスという町で、一回の爆撃で1,500人を殺害したのです。しかし、世界は何も反応しなかった。そしてあの馬鹿げた合意（書記注：2013年9月、シリア化学兵器の国際管理・廃棄をめぐる枠組みに米ロが合意）です。基本的には、「それによってアサドから化学兵器を取り上げたんだ」とオバマは自慢していました。しかし、アサドは化学兵器を手放すどころか、継続してさらに多くのVXガス、サリンガス、塩素までも製造していることが分かりました。そして、使っている！彼はそれを毎月使っているのです。ただ、塩素はサリン程は強くなく致命的ではないため、これらの事についてあまり聞こえてこないだけなのです。皆さんには、これら全ての背後にある理由を理解していただきたいのです。これはトランプ政権を試しているのです。ほんの数日前、トランプは「アサドに関与して、権力の座から引きずり降ろすようなことはしない」と宣言したばかりでした。とても興味深いのは、アサドが今まさにやっていることとは、

「ということは、私はやりたい放題に出来るのだ。今私の地位を脅かす奴は誰もいないのだから」という事なのです。基本的には、トランプ大統領が言葉の上だけだったにしろ、自分たちは関与しないという事で、アサドに追い風を与え、スンニ派反政府軍を出来る限り素早く始末するようにと行動を起こさせたのです。そして、非常に興味深いことに、彼らはオバマにもそうしたように、トランプの事もとても弱く描こうとしています。もちろん、トランプはISISの対処までしているので多忙です。だから彼らは、トランプがISISのことで忙しいため、彼らにまで関与したくないのだと考えたのでしょう。面白いことに、中東で結ばれた全ての合意や同意が、目の前で崩壊して、ばらばらに砕け散っています。だからイスラエルは、我々の近隣諸国のアラブ側を一切信用できないのです。パレスチナとの合意に関しては、特にそうです。合意というものは通常、弱い立場の者からもたらされるもので、弱い方には、他に選択肢がないから合意します。しかし、自分たちが勢力を得るや否や、彼らは直ちにその合意を破り、自分達の

やりたい放題に行動します。これは、イスラエルがハマスや PLO（パレスチナ解放機構）といった組織と合意した場合、必ず起こり得ることなのです。

次に、ご存知の通り、ロシアは今、バシヤール・アサドの味方です。そして、アサドは今溺死寸前で、ロシアも彼と一緒におぼれている状態です。そしてプーチンにとっては、彼自身を、味方には最後まで寄り添う者のように見せかけることがとても重要です。ロシアは、最後まで残された、西洋に対する正当性も失いつつあり、また彼らは、誰が嘘をつき、アサドを庇っているのかを把握し始めています。ちなみにバシヤール・アサドは、ロシアのゴーサインか、もしくは知識がなければ、これを行っていないことは明白です。恐らく、「イドリブ地域の反政府軍を今、破滅しなければならない」と彼が言ったのでしょう。アレッポで起こったのと同様の事が、イドリブでも直ちに行われるべきだと、彼は気づいたのです。「さもなければ、生き残れない」と。理解しておくべきは、アサドが、大変慎重にこの地域を選んだという事です。なぜなら、何万も存在する反政府軍の要塞のうち、最大のものの一つがこの地域に存在するからです。しかし、彼の地上軍はそこにはまったく存在せず、そのため彼はロシア製の Su-22 機を飛ばしたのです。そして彼らは、この地域を立て続けに何度も何度も爆撃したのです。長い話を短くして言うと、ロシアは今、イスラエルにご立腹です。ロシアは今、西欧にもご立腹。ロシアは今、あの地域での事件を深く隠蔽するのに必死です。これを観ているクリスチャンの皆さん、このニュースを見ているクリスチャンの皆さんは、どうか、我々には全て証拠があることを理解しておいてください。我々は全ての名前、数字、人物、場所、あの地域での事件の全詳細を正確に把握しています。数日前、そこで起こった時の映像を私たちは持っているのです。ですから、反政府軍が化学兵器を使用したなどという話を信じる隙もありません。反政府軍は化学兵器を所持していないのですから。反政府軍が持っていたのなら、彼らは使っていたでしょう。反政府軍は住民を爆撃する術を持っていないのです。それになぜ、彼らが自分達側の人間にそれをするのでしょうか？そんなことは全く誰の益にもなりません。バシヤール・アサドが自国民を惨殺しているのです。恐らく、イスラエルが沈黙を破る時が来るでしょう。

もし、これらの武器がいかなる——どう言えば良いかわかりませんが、——イスラエルに向けられるなら、我々はそれに対処しなければならないことは明白です。それも、非常に厳しい方法で。

皆さん、今回は化学兵器攻撃に関する短いレポートですが、我々は何が起きたのかを正確に把握していることをお伝えしておきます。それからもう一つ、皆さんに理解しておいてほしいのは、この問題を巡って、ロシアとイスラエルとの間に緊張が高まっているという事です。全ての事が聖書預言の中で面白い形で起こっていて、イスラエルだけが唯一、中東で平和な場所です。安全で保障されており、繁栄しています。我々の周辺は皆崩壊しつつあり、全てがバラバラに砕けていっているのです。我々の目からは、全てが然るべき場所に収まっていると見えますが。ということで、皆さん、どうか現在の状況に目を向けておいてください。そして、最も重要な事から目を逸らさないように。最も重要な事とは、「神が完全に支配しておられる」ということです。今現在起こっていることは、何年も前に予測できたことが我々の目の前で、まさに起こっているだけの事です。どうか皆さん、主にあつて、強くあれ。昨日も Pastor Jack と一緒に言いましたが、今日もう一度言います。

聖書を読んでください。

どうか聖書を読んでください。残念ながら、あまりにも多くの保守派、愛国家、自称クリスチャンが、聖句の一部を取り出して、聖書全体を見ないのです。彼らは聖句を全体の意味から切り離すのです。残念なことに、私が星や月や太陽などのしるしを信じていないと批判して来る人がいますが、それは事実ではありません。イエスは言われました。聖書には、主が再臨で戻って来られる時に、神の御子が雲の中に来られる時に、全世界が星のしるしと共に、彼を目撃するとあります。私はそれを 100%信じていますよ。でも、私はここにいてそのしるしを見ることはありません。私も主と一緒に来ますから。携挙に関して知るために、我々が見張っておくべき、また知っておくべき天のしるしはありません。我々信者にとっては、携挙がもうすぐそこまで迫っているのです。私は再臨のしるしを求める必要はないのです。私は再臨の時、主とともに来るのですから。ということで、私は天のしるしは信じます。イエスがそれについて語られたと私は信じています。しかし、終わりの時に関して、患難に関して、私たちが主の元に集められることに関しては、聖書にこうあります。

52 …ラッパが鳴ると、…

(第一コリント 15:52)

ラッパの音は天で響くのですよ。ここではありません。

52 **終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。**

(第一コリント 15:52)

瞬く間にです。世界は私たちを見ますが、瞬く間に消えてしまうのです。そこに大きなシーンはありません。大きなシーンは主が来られる時、東から西までが輝く明けの明星を目撃するように、全ての目が目撃し、全てのひざがかがめられます。それが起こるのは、主が戻って来られ、オリーブ山に降り立った時です。そして全世界がそれを目にし、その時、私たちは主とともに戻って来るのです。

どうか正しい視点から見てください。

このような報告、アップデートはしたくなかったのですが、こんなことが起こるのを、私たちは見たくはありませんから。でも同時に、こう言ったことは起こっています。私たちは夢の世界に住んでいるわけではなく、卑劣で悪で残酷な世界に住んでいるのです。我々は、罪とプライド、高慢、エゴに満ちた、人間が支配する世に生きています。そして、その結果を目撃しているのです。

だから、イエスを伝えましょう。みことばを伝えましょう。今が終わりの時であると、世に伝えましょう。今は最後の時間です。私の著書が出版されるのが楽しみです。執筆は終わったので、間もなく出版されます。タイトルは「終わりの時」(The Last Hour)。その中で、今周りで起こっている全ての事は、私たちにとっては携挙が間近に迫っていることを示す驚くべきしるしだと説明しています。

ご視聴いただきありがとうございます。今回はいつものように事前予告をしていなかったのですが、ライブで報告すべきだと感じました。皆さんなら、これがどれだけ重要かを理解し、欺きに騙されないと信じています。それからまた、皆さんなら、今現在起こっている事態から、何とか励みを得られると信頼しています。これらの出来事は、我々にとっては主がすぐにでも戻って来られることのあるしるしですから。イエスは人間の心を知っておられるから、何が起こるのか、はっきりとご存知だったのです。主がこれらの事に興味を持たれたのではなく、主は、人間にどれだけのことが出来るのかを、ご存知だったのです。そして残念ながら、主がこうなると言われたそのままの事を、人間はやっているのです。ですから、これら全ての事を見て、私たちは贖いが近づいたことを知り、頭を上げるのです。この世、この肉体からの贖いが確実に近づいています。

Thank you from the Sea of Galilee!

God bless you!

Shalom!

たぶん、次のライブは来週ロサンゼルスからになるでしょう。その時まで。

God bless you!

Shalom!

Bye-bye!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジャーナル Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO